



窓やベランダからの子どもの転落事故に注意



～窓に補助錠を付けるなどの転落防止対策をしよう！！～



相次ぐ子どもの転落事故！！



- ◎2022年10月～2023年5月だけで4歳以下の子ども7人が転落事故で死亡
- ◎5歳以下の転落事故…窓を開ける機会が多くなる5月が最多。夏にかけて多い傾向
- ◎3～8歳を中心に幅広い年代で発生しているが、3～4歳の転落事故が最も多い
- ◎高所からの落下は生命にかかわる重大な怪我につながる恐れがある
- ◎窓が開いた部屋で子どもだけで遊んでいて発生する事例が多い

【転落事故の事例】

施錠していた窓の鍵を開けてベランダに侵入し柵をこえて転落

窓枠や出窓に座って遊んでいる時に網戸が外れて転落



ベランダで遊んでいる時に置いていた足場に登って手すりを乗り越え転落

窓際に置かれていたソファによじ登り、2階の窓から網戸を突き破って転落

保護者が1階にいる時に子どもが2階から転落

！！保護者が配慮すべきこと！！

注意

◎子どもが遊びを通して冒険や挑戦をすることは自然な行為であり、子どもは予期しない遊びをすることがある

◎子どもは、さまざまな遊び方を思いつくものであり、遊具を本来の目的とは異なる遊びに用いることもある



住居などの窓やベランダから

子どもが転落する事故を防止するためのポイント！！

【窓やベランダの環境づくり】

① 窓やベランダの手すり付近に足場になるようなものを置かないようにしましょう！！

- ◆エアコンの室外機は、手すりから離して設置しましょう。
- ◆窓の近くにソファ、ベッド、棚などの家具を置いていませんか？
- ◆ベランダに使わなくなったおもちゃ、ごみ箱、プランター、水槽等が置いてありませんか？



② 窓、網戸、ベランダの手すり等に劣化がないかを定期的に点検しましょう！！

- ◆網戸が外れそうになっていたり、網が剥がれそうになっていたりしませんか？



③ 窓を閉めていても、子どもが勝手に窓を開けないよう、窓や網戸には、子どもの手の届かない位置に補助錠を付けましょう！！



【子どもの見守り・子どもの教育】

① 子どもだけを家に残して外出しないようにしましょう！！

- ◆「ちょっとそこまで…」という気持ちで、寝ている子どもを家に残して外出していませんか？



② 窓を開けた部屋やベランダでは子どもだけでは遊ばせないようにしましょう！！

- ◆子どもは、外から聞こえてくる車の音、家族の声、犬の泣き声などに反応して走り出し、手すりをよじ登って転落したり、手すりによじ登って下をのぞき込んだりして転落してしまうこともあります。
- ◆ベランダが楽しい遊び場になっていませんか？遊んでいる時に多く転落事故が発生しています。



③ 窓枠や出窓に座って遊んだり、窓や網戸に寄りかかったりさせないようにしましょう！！

- ◆窓枠や出窓で遊んでいて、網戸が外れて転落する事例は、幼児に限らず7歳以上の児童でも発生しています。



子どもから一瞬たりとも目を離さないようにするには限界があります！！

子どもの見守りと併せて転落事故が
起こらない環境づくりを行きましょう！！